

津市基幹情報システムの更新について

1 基幹情報システムについて

津市基幹情報システムは、住民情報や税情報を中心にこれらの情報と密接に関係する福祉分野等の各種基本的な総合住民系の業務システム及びこれらの業務と関連の深い財務会計等の内部情報系システムを中心に構築し運用を行っています。

現在のシステムは、平成22年1月から順次導入しており、平成28年3月31日をもって契約期間が満了することから、平成27年度中にシステムの更新作業を行うことが必要です。

2 基幹情報システムの更新について

(1) 更新の方向性について

基幹情報システムの更新にあたっては、住民サービスの向上や業務の効率化及び業務を継続的かつ安定的に行っていく観点から、これまでの基幹情報システムの基本的な考え方を踏まえ、より円滑なシステム運営に向けて効率的に更新ができるよう、外部の専門家等からの御意見も参考にしながら検討を行いました。

この結果、前回は一体的に募集していた情報系のシステムとPC・周辺機器（3—参考2、現行システム図の①）の内、PC・周辺機器（3—参考2、次期システム図の③）については別途の調達とすることとして募集することが、より短い更新期間で最も安価に更新することが期待できると判断しました。

(2) 経費の削減について

現行の基幹情報システムでは、導入経費と本格運用となった過去5年間の運用実績の経費を合わせて単年換算で約10億7千万円を要していますが、更新に当たってシステムの構成及び調達方法等の見直しを行った結果、現行システムの機能の部分で約5%程度の経費削減の効果を、法律や制度改正への対応及び収納業務への全庁的な支援機能の充実分等を含めても、概ね現在と同程度の価格帯で更新することが可能と見込んでいます。

3 更新スケジュールについて

今後のスケジュールにつきましては、平成27年4月以降に業者選定に係

る公募を行い、夏頃までの間に審査等を経た後、選定された事業者との契約を締結し、更新作業に着手することから、必要な予算を平成27年度当初予算に計上する予定です。

基幹情報システムの更新について



